

Aブロック全作品と講評

病



Yakushiji-temple @Nara

www.columnland.net

仮病「ごめん、平日は忙しいから」

朝、目を覚ます。手を額に。どうやら熱があるようだ。倦怠感も感じる。思い切り立ち上がるうした拍子に、目眩と耳鳴りがしてそのまま座り込んだ。深呼吸をしようとしても果たせず、空咳が出るばかりである。

落ち着いた時を見計らい、寢床から抜け出、ゆつくりと立ち上がる。カーテンを引き、窓を開けた。

視界を上向かせると広がっているのは曇天。さらには気温が高い上に湿度も高い。そのせいで一種独特の粘りつくような空気を感ずる。

ふらつきながらも身支度を整え、外に出る。自身によるものなのか気温によるものか判然としないだるさを知覚しながら道を歩く。通り過ぎる人々の表情も一様に曇っている。

突風、砂埃が舞い上がり宙を舞い、視界を塞ぐ。轟々と響く風の音は聴覚を遮断した。顔を庇いながらさらに道を行く。

少し時間が経つと、砂埃は収まる。後に残るのは間欠的に吹く風ばかりである。今日はどうかやら天気の良い日らしい。空はいよいよ暗さを増して、いかにも雨を降らせそうな様子である。

ああと声が漏れた。そうか、病んでいるのは自分だけではない。世界も病んでいるのだ。

病氣辞典

※ この辞典に載せてある病氣はたぶんフィクションです。

一病【いちびょう】無駄な時間を過ごす精神的なショックを負う病氣。一病患者は無駄な時間の許されない会社は研究所などでは、大変貢献するらしい。

炎症【エーンエーン】字の通り、燃え上がる炎のようにとにかくわめきが止まらない病氣である。症状が始めるのは完全に個人差。

オナカヘルス【Onaka-health】なかなか満腹にならない病氣。肥満体質になる原因にもなるので注意が必要である。過食症と呼ぶ人もいる。

画病【がびょう】①画鋲に魅了され、画鋲で遊びだすようになる病氣。画鋲で遊ぶのは大変危険なので、一般の方は真

似しないように。②マゾヒストのカテゴリに分類される、画鋲を自分の身体に刺すことで快楽を得る病氣。こちらと同じく大変危険なのは、もはや言うまでもない。

仮病【けびょう】高等学校までの課程で主に効果的である、病氣であることを偽り遊びにふけるという匠の業である。嘘をついたことがばれてしまう……？

全症【ぜんしょう】試合や賭け事で一度でも負けると、発狂して暴走が止まらなくなる病氣。あまりにもプライドの高すぎる人は、この症状にかかっている可能性が高い。

晴薇症【はらしょう】とにかく他の人をひたすら讃え続ける病氣。言い換えれば、いい人である。他の人を讃えられる人は大変素晴らしいので、この病氣が全ての人々に感染していくことを強く祈る。

小学校の時のこと

病気がちな女の子が転校してきた。

私が五年生の時だった。

その子のはなちゃんと言って、笑顔のとても可愛い子だった。

はなちゃんは心臓に病気を抱えていて、体力がないため、学校で授業を受けるだけでも疲れてしまうようだった。そのせいもあって、前にいた学校では休んでばかりで友達とは仲良くなれず、その理由もあって転校してきたという。

私のいる学校に移ったあともはなちゃんは学校には中々出れなくて、来たとしても授業を一つだけ受けて帰ることがほとんどだった。それでもはなちゃんが教室に入ってくるとみんなは喜んで、彼女の周りにはクラスメイトがたくさん集まっておしゃべりをしていた。

はなちゃんが学校に来れないときはみんなで手紙を書いて、家までいって届けにいつていた。家に行ってもはなちゃんに会えないことがほとんどだったけれど、はなちゃんのお母さんはいいつも、手紙を嬉しそうに貰ってくれた。

次第に、はなちゃんは私たちのクラスを気に入ってくれるようになり、転校してきてよかったとも言ってくれた。そう言ってもらえると私たちも嬉しくて、前よりもっと話かけに行ったり、手紙を書いたりした。

そんな中、私たちが六年生になったとき、はなちゃんの病状が悪化してしまった。

進級してからはなちゃんは一回も学校に来なくなり、手紙を渡しに家に行っても彼女に会えることはなく、お母さんが忙しそうにしているのが見えるだけだった。はなちゃん的笑顔が見れることはほとんどなくなってしまった。

はなちゃんの病状が変わることはなく、ついに卒業式を迎えた。

卒業式に出れたらいいな、とはなちゃんと言っていたけれど、お医者さんに止められてしまい、結局彼女抜きで式になってしまった。代わりにお母さんが卒業証書を受け取りに来たけれど、お母さんは終始涙ぐんでいた。お母さんははなと仲良くしてくれてありがとう、転校してきてよかったと繰り返し感謝の言葉を述べていた。私たちはとても嬉しくなった。早くはなちゃんの病気が治るといいね、と言ってお母さんと別れた。

私は小学校を卒業したあと、医者を目指すことに決めた。はなちゃんのような子が元気に学校に通ってほしかったから――。

そして、ついに明日から研修期間が始まる。初心を忘れずに、仕事がつらくなったときははなちゃん的笑顔を思い出して頑張っていこう。

『You got a mail』

「メール来た――――」

○○ちゃんの行動パターンからこのメールは

彼女からの返信に違いない！いや、そうであってほしい――

「っておおおおおおーい

××お前か――――」

しかも何だ？

『自炊してカレー作ったんだけど美味そうじゃね？』

だど？

「そんなこと、知らんわ――――」。こっ

ちは○○ちゃんからの返信を今か今かと
待ってんのに、くだらないメールしやがって

――（怒）

『You got a mail』

「あっ」

もうこんな時間か、あと5分で授業だ！

僕は急いで食堂を出た。

周りも気にせず走っていたら誰かと体がぶつかった。

顔を上げると一人の女の子と目が合った。

・・・

そうだ、授業に遅れてしまう

彼女の無事を確認してから、ごめん、とだけ伝えて教室へ向かった。

しばらくして、僕は不意に胸がずきずきと痛むのを感じた。

どうしたんだ・・・

もしかして、これが恋というもののなか・・・？

彼女のことを思い出すと胸が痛い。

何をしていても胸が痛い。

どうやら、僕は恋の病というものに陥ってしまったらしい。

その日以来、僕は胸の痛みを抱えながら、そわそわするようになった。

僕の様子が変わることを心配した母は、僕に病院へ行くことを勧めてきた。

恋の病にかかった僕が病院へ行っても意味がないことはわかってる。

だが、正当な理由で授業を休めるチャンスをつぶすわけない。

翌日、病院へ行くことにした。

病院に着くと看護婦さんから問診を受けた。

恋の病です、なんて死んでも言えない。

走っていたら人とぶつかって、それ以来胸が痛いんです、と伝えてみた。

初めの問診から、僕が通されたのは整形外科。

「レントゲンを撮りましょう」

・・・？

レントゲン写真を見た医者が一言。「ああ、やっぱり」

・・・？

「肋骨が折れてますね、最近胸のあたりがずきずきと痛みませんか」

・・・！

僕の初恋は、錯覚だった。

どうしてこうなった？

こんなはずではなかったのに・・・

確かにこの惨状を物語らせる予兆はあったよ？

たとえば、

「極寒の地の氷の神、偉大なる始まりの氷よ 死の冷気を身に纏い、穢れを浄化せよ！

冷たき闇を滅する凍える怒りの吹雪を巻き起こせ！顕現せよ、我が身を喰らいて吹き荒れろ！

スーパーエターナルフォースブリザード!!」

とか言いつつ、俺の背中に氷を大量投入するぐらいの可愛げですんだのに・・・（意外と背中重症）

周りからの視線がイタイだけぐらいで社会的には死んでなかったのに・・・

でもな、これは・・・

無理無理無理無理無理無理無理無理無理！！！！！！！！

「ねえねえ、なんであなたからほかの女のニオイがするの？ねえ、こたえてよ？

え、ただ、某工業大学の無駄に混む学食で隣の席ではなしをしただけ？

うそよ・・・

知ってるのよ？あの女でしょ？幼馴染で運命の人である私からあなたを奪い取ろうとする女狐は・・・

ケスシカナイワネ・・・

え、そんなこと止めるだって？

なんでわかってくれないの！ずつとずつと貴方のそばにいて貴方だけを見てきたのに・・・

まさか、インビジュアル境界線管理局の者によって穢れてしまったの！

残念だわ、最後の手段しか残されていないのね」

さ、最後の手段！ちよつとまで！何する気だ！

「私の手の中に眠りし名状しがたい混沌カオスのような 剣 よ 今、その永久とわの眠りから解放され

黒と白、闇と光、表と裏、逆の性質をもった力を解放せよ！

いくぞ、光と闇の包丁ライオンとダークネスカサリ

漆黒の暗い闇の道を創り 穢れてしまった彼を救い出し天に導く光を紡ぎだせ！

ダークネスストリームホーリーアタック!!」

や、やめて！包丁を振り回さないで！

え、包丁じゃない？ 光と闇の包丁？ライトアンドダークネスカサリ

どっちでもいいよ！

注）ヤンデレも立派な病です。ヤンデレ・・・「病み」と「レ」の合成語であり、広義には、精神的に病んだ状態にありつつ他のキャラクターに愛情を表現する様子を指す。その一方、狭義では好意を持ったキャラクター（デレ）が、その好意が強すぎるあまり、次第に精神的に病んだ状態になることを指す。

「なんとか説得して生き残ったようです」

あるナースの証言

「そうですね。」

あの二人を一言で表すなら、理想の夫婦といった感じでしょうか。

奥さんは毎日欠かさず、入院中の旦那さんのお見舞いに来ていましたし、旦那さんもそれを非常に喜んでいました。

先生もそんな二人を見て、旦那さんの病気は絶対に直してみせると言って、投薬なんかも自分でやっていましたよ。

そういえば、亡くなる少し前に、旦那さんが、『私が死んでも妻には私を忘れないでいてほしい。』というようなことを言っていました。

あの奥さんなら、そんなことは、きっとないでしょうね。

結局、旦那さんは亡くなってしまうましたが、非常に幸せそうな顔をしていました。きっと、奥さんのおかげでしょう。」

ある女の医者への手紙の概要

「これで晴れてあの人と別れて、あなたと再婚することができます。

あなたが、投薬をするように見せかけて、主人を毒殺するという計画を話してくれた時は、どうなることかと思いましたが、割とあっさり成功しました。

それに、主人のお見舞いに行くという名目で病院に行けば、執刀医であるあなたに会うことができましたから、今まで以上にあなたに会うことができました。

罪悪感がありますが、あなたと一緒にになれるなら、たいしたことではありません。

そういえば、主人の遺書をまだ読んでいませんでした。

この手紙を投函したら読むことにしましょう。」

ある男の遺書の一部(文中の○○には男の妻の名前が入っている)

「私はすべてに気が付いていました。

○○の目にはもう私は映っていないことも、○○は私の死を望んでいることも、私は病気のために死ぬわけではないことも。

私は○○のことを、愛しきってしまっているほど、愛しています。

そして、○○が私を忘れることが、死ぬことよりもつらいのです。

ですから、私は○○に忘れられないために死ぬことにしました。

これを読んだ○○は私のことを気持ち悪いと思うことでしょう。

しかし、そんな感情であっても、あなたの中に私がいられるなら、忘れられるよりはずっとよいのです。

あなたは私に呪われたのです。

そして、私は恋の病のために死ぬのです。」

赤血球「俺！、病氣とバトってるの実は俺！」

「真っ赤な嘘」

赤血球..体全体に酸素を運ぶ働きをする。

白血球..体に入ってきた病原菌を退治してくれます。

博士のタイムマシンがついに完成した。間に合った、と博士は安堵の息を漏らした。重い心臓病を抱える孫娘を、未来の医学なら救えるはず。……博士は寝ている孫娘をこっそりと連れ出して、タイムマシンに乗せた。博士は「4096年」に目的年代を設定し、スイッチを入れた。

頭上を飛び交う自動車、見たこともない高層ビル。成功だ。博士は孫娘を抱きかかえ、不思議そうな目でこちらを見守る野次馬の一人に「この子は心臓に病気を持っている。医者を知らないか？」と言った。

「医者？……心臓がご病気ならば取り替えればいいのでは？
一万円程度で済む話ではないですか。」

「それほど簡単に心臓移植が出来るのか、素晴らしい！是非とも紹介してくれ！」

「紹介しろと言っても……こう心臓を買ってから部品を交換する要領で……ってアレ？まさかロボットじゃない？
大変だ！」

「おじいさん、早くお帰りになって下さい！生身の人間では、この世界の放射線量に耐えることは出来ない！……おじいさん！大丈夫ですか？おじいさん！」

「今すぐこの二人にロボット手術を施行しろ！早く！早く！早く！」

「……………」

「俺のいもうとがこんなに病んでるわけがない。」

兄「ただいまー。」

妹「おかえりなさい、お兄ちゃん。私にする？ 私にする？ それともわ・た・し？」

兄「すいません、帰る家を間違えました。」

妹「ふふつ、私知ってるよ。お兄ちゃん。昔から好きな子には冷たくしちゃうってこと。」

兄「ごめん、ちよつと意味分かんない。おれ明日テストだから部屋で勉強してくるわ。」

ガチャ

妹「お兄ちゃん、クッキー焼けたよー。」

兄「変なもの入ってないだろうな。」

妹「そんなもの入ってないよ。ただお兄ちゃん最近貧血気味だって言うから私の血を数的垂らしたただだよ。」

兄「あいたたた、急におなか。」

妹「それは大変。私が見てあげる。」

兄「もう治ったみたいだからそのメスをしまってくださいな。」

妹「残念、せつかくお兄ちゃんを解剖できるチャンスだと思ったのに。それじゃ、はいクッキー。あーん。」

兄「それはいらん。」

妹「そんなー。お兄ちゃんのために作ったのにひどーい。」

兄「ところでその右手に持ってる物騒なコンパスみたいなのは何だ？」

妹「これはその昔、自ら食事を断って

飢え死にしようとする奴隷の口を無理矢理こじ開けて食事を押し込めたための道具だよ。」

兄「わーこのクッキーすごくおいしいーというわけで勉強しないとまずいからいい加減出てってくれ。」

妹「きやつ。」

妹「お兄ちゃん入れてよー。あ、もしかしてこれが放置プレイ？」

兄「もういいよそういうことで。」

妹「でもやっぱりつまんないよー。」

入れてよー。」カリカリ

兄「ドアひつかかないでこわいから。」

妹「何の勉強してんの？」

兄「数学。」

妹「あーあ、私とお兄ちゃんの愛の方程式に解の公式があればなあ。」

兄「たぶん解なしだと思うぞ。あとピッキングしようとするのやめよう。」

妹「だってお兄ちゃんのそばにいたいんだもん。」カチャカチャ

兄「なあ妹よ。俺たちは兄妹だ。たとえ離れてても心は繋がって——」

妹「やった、解錠成功。あれ居ない。窓から出てったのかな。」

兄「仕方ないカフェでも行くか。」

カランコロン

妹「いらつしやいませ、お兄ちゃん。

ご注文は私ですか？」

一度かかると治らない、

あなたを想うこの気持ち。

コンテスト結果

[Aの部]

コ ラ ム 番 号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	仮病	10 pt	3 位	3 sp
		仮病くん、たしかに平日にフル稼働ですよ。 たった1行で非日常にするりと持っていてくれる。さくっとシュールな今週の表紙です。 でも、仮病くんは休日に来られても、困るかなあ…… 思い切りの良さで、ブロンズ・メダル&最多特別賞ゲットです、おめでとう!! 特別賞：学校来ま賞（4位だったから）ちゃんとしま賞（仮病は甘え）暇で賞（大学生そんなに忙しくない） イチオシフレーズ：「仮病『ごめん、平日は忙しくてさあ』」		
A02	病（世界も病んでいる）	3 pt	9 位	0 sp
		世界の終わり、ということでしょうか。荒れた天候の描写が、病んだ自身の体感にシンクロして、とてもリアルに伝わってきます。 あたかも壮大なストーリーのオープニングのようなイメージ喚起力に満ちたシーンでした。小説をたくさん読んでおられるかたでしょうか。言葉の使い方の巧みさに唸りました。		
A03	病気辞典	6 pt	7 位	2 sp
		オナカヘルスに大爆笑。粒の揃った小ネタ乱れ撃ちの爽快感を楽しんでいるとハラショーできれいに着地していただきました。 よくこんだけ思いつくなあ。グッジョブ！ 特別賞：はら賞（はらしょう）ハラ賞（хороший） イチオシフレーズ：「晴薇症」		
A04	小学校の時のこと	0 pt	12 位	2 sp
		長編力作登場です。 はなちゃん、けっきょくどうなった？まで描かなかったところに作者さんのやさしさを読みました。 私が医者になったわけ。プロとして歩み出した瞬間までを描ききったハートウォーミングな仕上がりです。 特別賞：Longで賞（良くも悪くも長い。）がんばったで賞（長いから）		
A05	恋の病（メール来た）	10 pt	3 位	1 sp
		着信あるたび、はらはらときどき。そんな病にかかってしまった青春まっただなか。 心のアップダウンがアツくポップに展開されて、とても親しみやすい仕上がりでした。おめでとうブロンズ・メダル！ 特別賞：あと一歩で賞（あと一歩で3位の所で落選したので。）		

		イチオシフリーズ：「You go a mail」
		20 pt 1 位 0 sp
A06	無題（初恋錯覚）	出会いがしらの衝突事故。お約束のシチュエーションからスタートしたのに、な、な、なんと肋骨骨折でオチとはっつ。 とてもテンポの良い運びと、定番をそしらぬ顔で裏切ってみせる、かるやかな語り口が光りました。 みごと壇上ゴールド・メダルです、おめでとう!!! イチオシフリーズ：「僕の初恋は、錯覚だった。」 「そうだ、授業に遅れてしまう」
		1 pt 11 位 0 sp
A07	どうしてこうなった？	来ました、中○病全開！ 怒濤の展開に巻き込まれて啞然としているうちに、まさかの包丁エクスカリバー。アブナイアブナイ。怪我がなくて良かったです。 イチオシフリーズ：「ライトアンドダークネスエクスカリバー」「ケスシカナイワネ・・・」
		9 pt 5 位 0 sp
A08	ある病死にまつわる話	証言・手紙・遺書。語り手が変わるたびに、くるりくるりと裏の真実が立ち現れてくる3部構成の構成力がみごとでした。とくに第3パート、こわいくらい。 コンパクトにまとまっているのに、幾重にも裏があって、とても懐の深いドラマとして仕上がっています。 イチオシフリーズ：「ある女の医者への手紙の概要」（句読点ほしかった）
		9 pt 5 位 3 sp
A09	真っ赤な嘘	目立ちたがりの赤血球くんのキャラ全開。 まあ、どっちもたいせつな役割だもんね。と自分の体にほんのり感謝したくなるコミカル展開でした。 ノリがウケて最多特別賞&イチオシフリーズ大賞のダブル受賞です。おめでとう!! 特別賞：赤血球で賞（赤血球という言葉が気に入った!!!） タイトルがよかったで賞（タイトルですべてがわかりやすかった） 題名が効いているで賞!!（題名が秀逸） イチオシフリーズ：「真っ赤な嘘」×3 「病気とバトってるの実は俺！」
		14 pt 2 位 1 sp
A10	無題（博士のタイムマシン）	夢の未来と思いきや……。 放射線地獄でみんながロボットなんて、聞いてないよお、な意外展開にびっくりでした。勢いの良さ◎。手術してもらって、もう一度、元の世界に生還したら、博士と孫、無敵ですね。 秀逸な構成力でシルバー・メダルです、おめでとう!! 特別賞：未来が心配で賞（多数決で第4位にランクインしたから） イチオシフリーズ：「……。」 「まさかロボットじゃない？」
		3 pt 9 位 2 sp
A11	俺のいもうとがこんなに病んでるわ	実話です！フロアに響いた爽やかな宣言。いいなあと思ったかた多数か？ 妹マジ最強！カフェにまで先回りしちゃうなんて、お兄ちゃん、もう逃げ場ないね。あきらめましょう、そうし

	けがない。	ましよう。 こんな妹いたらいいなあという作者さんの妄想、いや実話をたっぷり堪能させていただきました。おだいじに。 特別賞：アニメの見過ぎで賞（アニメ見過ぎてるのが伝わってくる）重症（いもうとさんの兄への愛が……）
A12	恋	5 pt 8 位 1 sp あまた出た恋の病ネタ。 ラストはリズム感よくシンプルにまとめて、今週の裏表紙です。 特別賞：寒気がしたで賞（読んだときゾッとしたから。） イチオシフレーズ：「一度かかると治らない、」

[Bの部]

コ ラ ム 番 号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
B01	恋の病（責任とってよ）	5 pt	7 位	1 sp せ、せ、責任、ですか？ ちょっと逃げ腰になってしまうような、じりっとにじりよってくるパワフルな今週の表紙メッセージでした。特別賞：言われたいで賞（班員全員男なので言われたい） イチオシフレーズ：「責任とってよ」
B02	日射病/日謝病	16 pt	2 位	1 sp なかなか鋭い文明考察。 ふたつを対比して辞書風に固めたことで、ああ日本人ってたしかにそうかもね、と後半への印象も強くなってワザアリの逸品でした。 シンプルさがいいね。おめでとうシルバー・メダル!! 特別賞：書き間違い賞（共感する意見が多かったため。）
B03	仮病をつかって	8 pt	4 位	1 sp 葉っぱがきらきら、風がさらさら。ベッドからの情景描写がとてもきれい。高校生活のさりげないひとこまでですね。 清涼感に満ちた語り口で、読み手もほっとなごめます。特別賞：青春したい人生だった（こんな青春がしたかったです。） イチオシフレーズ：「ほろほろ」「あの、窓側のベッド、がいいです」
B04	病名 やまいだれ	0 pt	11 位	0 sp ことばあそび登場！メンバーは矢さんと正さんと丙さん。やまいだれにとりつかれると体調崩すのが困りもん。ナイス☆アイディアでした。 それにしても丙さんの扱いがかわいそ過ぎて笑えます。見せ方工夫すると、もっと評価が上がったのでは？
B05	花粉症	24 pt	1 位	2 sp 花粉症という解が、まさにどんぴしゃ！大納得!! 説明不要の巨大インパクトでみごと壇上ゴールド・メダ

		ルです、おめでとう!!! 特別賞：花粉賞（共感します。） 花粉賞（つらいよね!） イチオシフリーズ：「病は木から」×2
B06	進化論	8 pt 4 位 3 sp ほおなるほど。愚かな人間は丈夫じゃないと生き残れないから、結果的にそうなるわけね、ふむふむ。 スキのない論理展開で反論できません。やるなあ。 みんなを納得させて、最多特別賞&イチオシフリーズ大賞のダブル受賞です、おめでとう!! 特別賞：スケール賞（スケールが大きい……？） おしかったで賞（4位だったから） 頑張ったで賞（すごい） イチオシフリーズ：「馬鹿は風邪をひかない」×3
B07	魔法の特効薬	0 pt 11 位 1 sp あの魔法の味は、思い出のなかだけ。二度と出会えない。 このリアリティ。実体験でしょうか。オレンジジュースに託して、さっくり語って共感度大でした。 特別賞：いい話で賞（いい話だったから。）
B08	最悪の病	3 pt 9 位 0 sp 健康になると死んでしまう不思議な病。意表を衝いた設定にすることで、じゃあ病気って何なんだろう？とそもそもその定義から問い返したくなる暗喩に満ちたコンセプトでした。 あにはからんや滅亡まで、わずか5年のカウントダウン。オチもきっちり付きました。
B09	今昔における恋わずらい解決法	12 pt 3 位 2 sp フォントもしっかり変えて今昔の違いがクリア。 どっちが成功率高いのでしょうか？なんか前者（古いほう）のほうが、ゆかしくて良くない？ ちゃらいと笑われつつもブロンズ・メダル&イチオシフリーズ大賞ゲットです、おめでとう!! 特別賞：出会いちゅうで賞（ちゃらいから。） 未読スルーされるで賞（班員に未読スルー被害者がいたから） イチオシフリーズ：「てかLINEやってる？」×3
B10	第6の病	8 pt 4 位 3 sp わりとヤバイ状況を怒濤トークで開陳したあと、先生のアドバイスへの返しが秀逸。 これってにわとりたまご？病が先か、彼女いないが先か？それが問題だっ。 何はともあれ、おだいじに。フロアの共感を誘って最多特別賞です、おめでとう！ 特別賞：東工大ネタ狙いすぎで賞（賞名通り） アスペ賞（アスペかな？） 東工大で賞（東工大生っぽい酷さがみえたから） イチオシフリーズ：「ただし少女をのぞく」
B11	母と病室	4 pt 8 位 0 sp 友人と思わせて……という変化のある展開から、ラストの母の悲しみへ。なだらかな構成のおかげで、しっとり悲しみに浸れます。おやすみ、ゆうちゃん。しあわせな夢を見られますように。余韻しみじみ。 ただ、タイトルはもっと工夫できるのでは。「母ひと

		り」とか、どうでしょう？ イチオシフレーズ：「ゆうちゃん、さようなら。」×2
		2 pt10 位1 sp
B12	六月病	この世は言い訳天国。春は春で、夏は夏で、いろいろと眠くなる要因が出てくるものなのですね。 睡眠不足はお肌の大敵。おやすみなさい。 特別賞：不眠賞（湿気で眠れるのは変態） イチオシフレーズ：「六月病」